

(様式1)

自己評価票

作成日 平成26年8月18日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|------------------------------|----------------|----------|
| 事業所番号 | 0872001284 | | |
| 法人名 | 東成産業株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホームいちさと筑波 | ユニット名 | 萌木 |
| 所在地 | 〒300 - 4224 茨城県つくば市小和田145 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年8月18日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成 年 月 日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|------|--|
| 基本情報 | 茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。 |
|------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|---------------|----------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成 年 月 日 | 評価機関 決 済 日 | 平成 年 月 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームいちさと筑波では、入居者様それぞれの生活や環境を尊重し、寄り添い、家庭的な雰囲気の中でゆったりと快適に過ごして頂けるよう常に目配り気配りを心かけております。又、その人らしく生活できるよう、一人ひとりの個性に合わせたケアや言葉使い、会話など臨機応変な対応、サポートができるよう工夫しております。地域やご家族との繋がりも大切にしております。これらの考えは当ホームの理念にも盛り込んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| |
|--|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|------------|------|---|---|
| | | | 実施状況 |
| I 理念に基づく運営 | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 運営理念を念頭にスタッフ一同連携してケアにあたっている。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地元の商店街などに買い物に行き、地域の方達ともコミュニケーションをとっている。又、近所の児童をもつ父兄から依頼され、緊急時の児童かけこみ場所となっている。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症よろず相談所としても活動し、相談を受け付けている。 |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者、家族、地域の代表者、市職員により、事業所の運営や話し合いをしている。行事にも参加して頂き、施設の様子を直接見て頂いている。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 推進会議や同業者による定例会にも市職員が出席しており、情報交換や意見交換を行っている。 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束を行わない事が方針である。日中施錠はしていない。マニュアルも作成してある。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待防止法について学んでいる。日頃より言葉使いや態度に注意し、対応している。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|------|------|--|---|
| | | | 実施状況 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度などの勉強会に参加し、知識や情報などを習得し、いつでも必要であれば活用できるよう、職員にも研修事項を伝えている。 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ご本人、ご家族と面談し、理解、納得を頂いたうえ、契約、解約を行っている。 |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議にも家族も出席して頂いており、又家族に無記名のアンケートをとり、要望や改善点あれば即、実行している。意見箱を設置している。 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 色々な意見が聞けるよう日頃よりコミュニケーションをとるよう努めている。提案や企画等、話し合い日々のケアに取り入れている。カンファレンスの実施。毎日の申し送り時の話し合い。 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 働きやすいよう入社時、条件、希望あれば聞き入れ、働きやすいよう努めている。その時その時の事情によって |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 働きながら資格取得や学べるよう勤務調整し対応している。研修にも交代で参加してもらい、報告書や感想を聞いている。 |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 月に1度、同業者による定例会に参加しており、意見交換や情報交換等行っている。勉強会も開催しており、他事業所職員との交流もある。柳橋と相互に研修訪問を行っている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|----------------------|------|---|---|
| | | | 実施状況 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ホーム内の場所の案内や他利用者との間に入り、不安軽減に努めている。安心して過ごされるよう関わりを多く持ち、不安や困り事あれば、その都度相談にのり対応している。 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 傾聴、受容の姿勢で対応している。ご家族からのご意見を伺えるような機会を作っている。 |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居時に本人、ご家族などの意見を聞き、必要時は福祉業者と連携をとり、希望の生活スタイルで過ごせるよう歩行介助器具や必要な介護物品など購入するなどしている。 |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常の生活で家事を一緒に行っており、お礼や感謝の気持ちを込め、接している。 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | いちさと便り（お手紙）にて月1度様子を報告している。ホームでの催しもお知らせしており、参加して頂いている。推進会議にも参加して頂き、ご意見を伺っている。 |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | 来訪の際は笑顔で出迎え、気軽に立ち寄って頂けるような対応を心かけている。馴染みの場所への外出支援も行っている。 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 不要なトラブルが起きぬよう目配り、気配りで対応している。場面で利用者同士の間にはスタッフが入り、皆で楽しめる催しを企画し、良い関係が築けるよう支援している。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|----------------------------|------|--|--|
| | | | 実施状況 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約が終了してもご家族からのお手紙や連絡があり、ご相談にのっている。 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の意向を大切に支援している。生活歴や習慣の把握、話やすい対応を心かけ、希望や意向が聞けるよう努めている。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 一人ひとりの情報を把握し、その人らしく過ごせるよう支援している。 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 1日の過ごし方を記録している。日中、夜間の情報を申し送りにて把握している。カンファレンスでも話し合っている。 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人及び家族の意向やケアカンファレンスで話し合いを行い、介護計画書を作成している。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別に記録している。一人ひとりの情報の把握をし、スタッフが連携し、日々より良いケアが提供できるよう支援している。 |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人やご家族の状況に応じ、ご相談や情報提供している。依頼あれば他施設への見学も一緒に行っている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|------|------|--|---|
| | | | 実施状況 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域への催しへ参加している。定期的に地域のボランティアも訪問して頂いており、地域の方の協力を得ながら交流を深めている。 |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、及び家族の希望を聞き、かかりつけ医を決めている。専門医受診の際は、ご本人、ご家族、医療関係者と連携し、安心して医療を受けられるよう支援している。 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携体制をとっている。担当看護師訪問の際は、報告や相談をしている。 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院可能な協力機関の確保ができています。入院の際にはこまめにお見舞いに行き、医療関係者と連携し、早期退院できるよう支援している。 |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所時に重度化した場合や終末期のあり方を話しあい、同意書や指針の説明をし、同意を得ている。ターミナルケアの方針やマニュアルも作成しており、本人、家族の意向を取り入れ、緊急時は医療関係者と連携し対応している。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署指導の下、救急救命の講習を受けている。応急手当や初期対応のマニュアルも作成してある。定期的に訓練していく必要がある。 |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回、消防署、地域住民、事業所全体で避難訓練を行っている。災害に備えての備品等を備蓄してある。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|--------------------------|------|---|--|
| | | | 実施状況 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 不快に思われない言葉使いや対応で接している。入浴や排せつの際には特に注意を払い、肌の露出や言葉かけに気を配って対応している。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 話しやすい態度で接し、一人ひとりにあった選択しやすい言葉かけを心かけている。個別で話せる機会を設けている。 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者のペースを第一に考え、対応している。その日の状況をふまえ、スタッフが連携し散歩やドライブ等、希望にそえるよう努め支援している。 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 希望美容室、洋服、化粧品購入などの際は同行している。移動美容室も利用されており、整容に対する意識や楽しみを持って頂けるようその方にあった声かけや対応に努めている。 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備や料理、片づけを一緒に行っている。嗜好品や旬の食材を提供している。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その方にあった食事形態や工夫で提供している。食事摂取表、水分摂取表にチェックし、こまめに水分や、嗜好品を摂取して頂いたりしている。状況に応じて経腸栄養剤も使用している。 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔内の清潔保持の重要性を理解しており声かけの工夫、対応で歯磨きを行って頂いている。訪問歯科によるブラッシングの指導をうけている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|------|------|--|--|
| | | | 実施状況 |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄表や仕草等から安心してトイレで排泄できるように対応に注意し、排泄の失敗の軽減に努めている。夜間も適宜トイレ誘導などを行っている。 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | こまめに水分を摂って頂いたり、乳製品や繊維質の多い食品を取り入れている。センナ茶など。また、運動の声かけも行っている。 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 利用者の希望にそい、入浴して頂いている。 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 寝具類、温度調整、明るさ等気持ち良く休まれるよう対応している。 |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個別にファイルしており、服薬もれがないように対応している。日頃の様子や変化等あれば医療関係者に報告している。 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常の家事を楽しく行って頂けるよう声掛けや感謝の気持ちを持ち、一緒に行っている。状況に応じた嗜好品の提供や気分転換の為の外出支援など行っている。 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご本人の希望にそい、外出支援を適宜行っている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 |
|------|------|---|--|
| | | | 実施状況 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>お小遣い程度のお金を持っている方が少数いらっしゃる。管理が困難な方は、ご家族と相談のうえ、預かり、必要時お渡ししている。希望のある方は職員付き添いのもと買い物に同行している。</p> |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>ホームの電話を使用して頂いている。依頼あれば、電話の取次ぎをしており、お部屋でも会話できるようになっている。</p> |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共用スペース等、居心地良く過ごせるようこまめに清掃し、清潔を保つようにしている。温度調整もこまめに行っている。</p> |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>玄関にはベンチ、リビングにはソファが置いてあり、くつろげるよう環境整備に努めている。</p> |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>使い慣れたものや好みの物を持ってきて頂いている。</p> |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>玄関はバリアフリーになっており、歩行や車椅子の方も自由に入出りできるようになっている。環境整備は状況に応じ対応している。</p> |

| V アウトカム項目 | | |
|-----------|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの ○ 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | 1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | 1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | 1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | 1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが ○ 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |